学校番号	112

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「　書Ⅱ　」　（光村図書）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・１年の授業で学んだ基礎を発展させて、表現の違い等を学びましょう。
・様々な書体を学び、確かな技術を身につける。
・身近に飾れる作品を作ることで達成感を味わい、書を愛好する心情を育てます。

２　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、書に関する見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と深くかかわる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（１）書の表現の方法や形式、多様性などについて理解を深めるとともに、書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に着けるようにする。

（２）書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深く捉えたりすることができるようにする。

（３）主体的に書の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・書の表現の方法や形式、多様性などについて理解している。 ・書の伝統に基づき、効果的に表現するための技能を身に着けている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて創造的に構想し個性豊かに表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい深くとらえたりしている。	主体的に書の創造的な諸活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	仮名の学習	・1年次の復習 ・連綿 ・作品 ・「蓬莱切」 ・「高野切第三種」	a:知識 線質や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 仮名の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技法、単体の線質や字形を生かした表現を身につけている。 b: 仮名の古筆や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し工夫している。 c： 自身の表現の意図に基づく表現、仮名の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・ワークシート
	楷書の学習	・「永字八法」 ・背勢と向勢 ・唐代楷書	a:知識 楷書の古典の書体や書風と用筆・運筆との関わりについて理解している。 a:技能 楷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、楷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身につけている。 b:楷書の古典の書体や書風に即した用筆・運筆、字形、全体の構成について構想し、工夫している。 c:楷書のよさや美しさを読みとり、楷書の表現の特質に基づく表現をする学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシート	・成果物 ・小テスト	・観察
	篆書の学習	・篆書の基本 ・小篆、甲骨文、金文 ・清代の篆書	a:知識 篆書の古典の特徴と用筆・運筆とのかかわり、篆書を構成する様々な要素について理解している。 a:技能 篆書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、篆書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に着けている。 b:篆書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:篆書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・鑑賞 ・ワークシート	・成果物	・観察 ・振り返り
	隷書の学習	・隷書の基本 ・曹全碑 ・清代の隷書	a:知識 隷書の古典の特徴と用筆・運筆とのかかわり、隷書を構成する様々な要素について理解している。 a:技能 隷書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、隷書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に着けている。 b:隷書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:隷書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート		・観察 ・振り返り

二学期	篆書・隷書の学習	・篆隷の文字で創作	a:知識 篆書・隷書の古典の特徴と用筆・運筆との関わりにについて理解している。 a:技能 篆書・隷書の古典に基づく効果的な表現の技能、変化や調和等による全体の構成の技能を身に付けている。 b: 表現形式に応じた全体の構成、感興や意図に応じた個性的な表現について構想し工夫している。 c: 自身の表現の意図に基づく表現、漢字の書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・振り返り
	漢字の書	・コンクールに出品 「九聖宮醴泉銘」 「孔子廟堂碑」 「雁塔聖教序」など ・様々な行書 「蘭亭序」 「集字聖教序」など	a:知識 さまざまな古典の書体や書風、字形や用筆の特徴の違いについて理解している。 a:技能 さまざまな古典の字形や用筆などの特徴を捉え、書風を生かし表わしている。 b:さまざまな古典の基本的な用筆法方を理解し、表現を工夫している。 c:さまざまな古典の美とその表現技法について関心をもち、主体的に自身の表現活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・相互批評
	篆刻	・1.5 センチ角の印材を使い、一字印の作成	a:知識 篆刻の線の美や、刻し方による趣の違いを味わい理解している。 a:技能 書体の字形や構成を生かした表現の技能を身につけている。 b:書体の字形や構成について構想し工夫している。 c:主体的に篆刻の幅広い表現の学習活動に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物 (印)	・観察 ・振り返り
三学期	草書の学習	・「書譜」 「十七帖」 「自叙帖」など	a:知識 草書の古典の特徴と用筆・運筆とのかかわり、草書を構成する様々な要素について理解している。 a:技能 草書の古典に基づく基本的な用筆・運筆の技能、篆書の古典の線質、字形や構成を生かした表現を身に着けている。 b: 草書の表現形式に応じた全体の構成について構想し工夫している。 c:草書の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・振り返り

	漢字仮名交じりの書	・著作権について考える ・古典を生かした表現	a:知識 線質、字形等の要素と表現効果や書風との関わりについて理解している。 a:技能 目的や用途に即した効果的な表現や、漢字と仮名の調和した線質による表現の技能を身につけている。 b:漢字と仮名の調和した字形、文字の大きさ、落款の位置や周囲の余白も想定した全体の構成と表現形式を意図に基づいて構想し工夫している。 c:自身の表現の意図に基づく学習活動を主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察 ・振り返り
	刻字	・表札を彫る	a:文字と書の伝統と文化について理解している。 c:篆刻・刻字の表現の特質に基づく表現をする幅広い表現の学習活動に主体的に取り組もうとしている。	・ワークシート	・成果物	・観察

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。